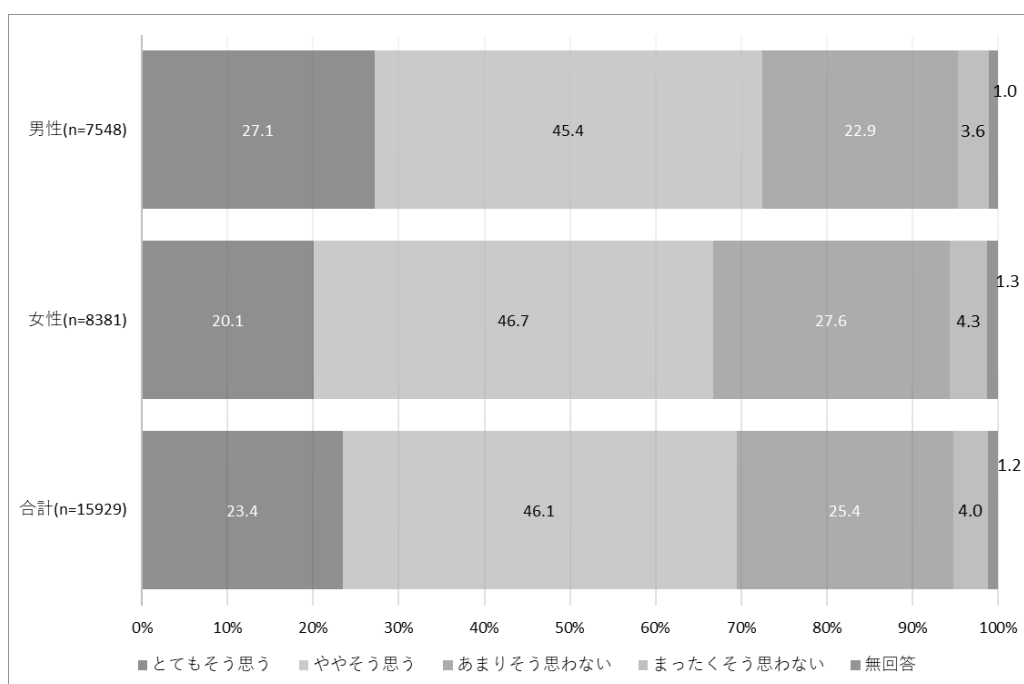


XII 長生きに対する評価

超高齢社会である日本において、長生きはどのように受け止められているであろうか。本調査では、「長生きすることは良いことだと思いますか」という質問によって長生きに対する評価を尋ねている。選択肢は「とてもそう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」である。

図表 XII-1 は、長生きに対する評価について男女計、男性、女性別にみている。男女計は、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した者はそれぞれ 23.4%、46.1%であり、合わせて 69.5%の者が長生きを肯定的に評価している。これは前回調査の 60.7%より高い結果であった。男女別にみると、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した者の割合は、男性でそれぞれ 27.1%、45.4%、女性でそれぞれ 20.1%、46.7%であった（以下「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計の割合を、「長生きすることは良いことだと思う」割合と表現する）。

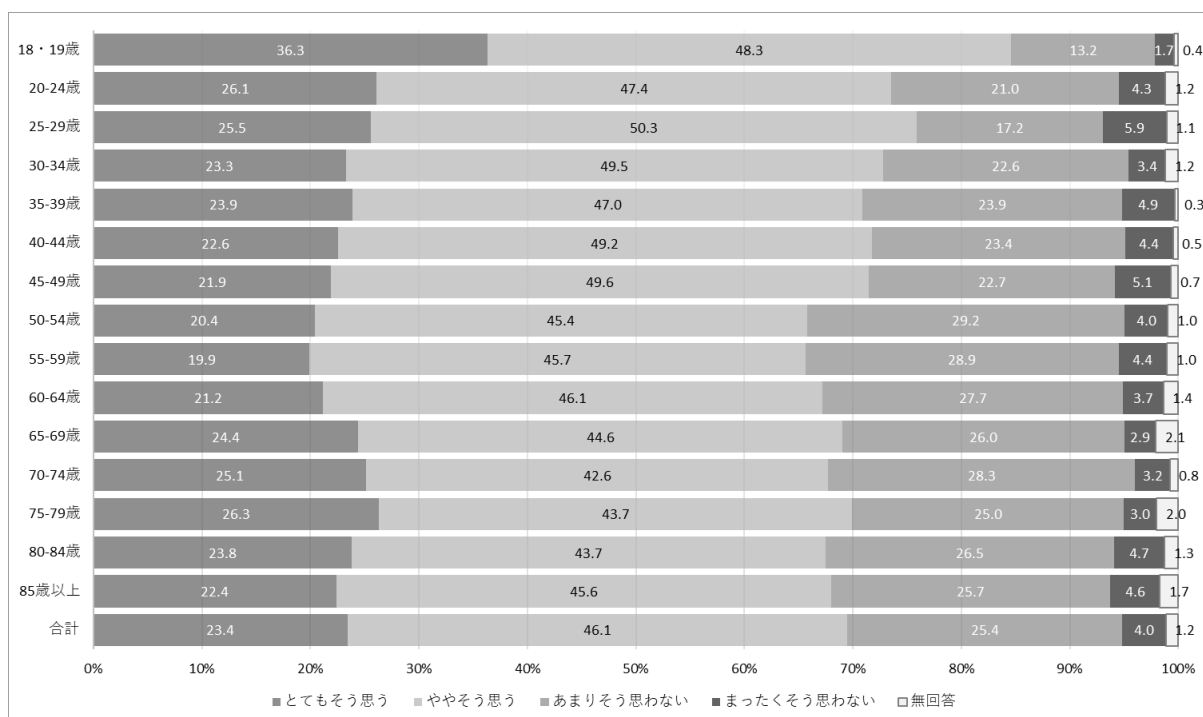
図表 XII-1 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。

図表 XII-2 は、長生きに対する評価を年齢別にみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」の割合は、40 歳代より若い層で比較的高く、また、高齢者層でも若干高くなっている。

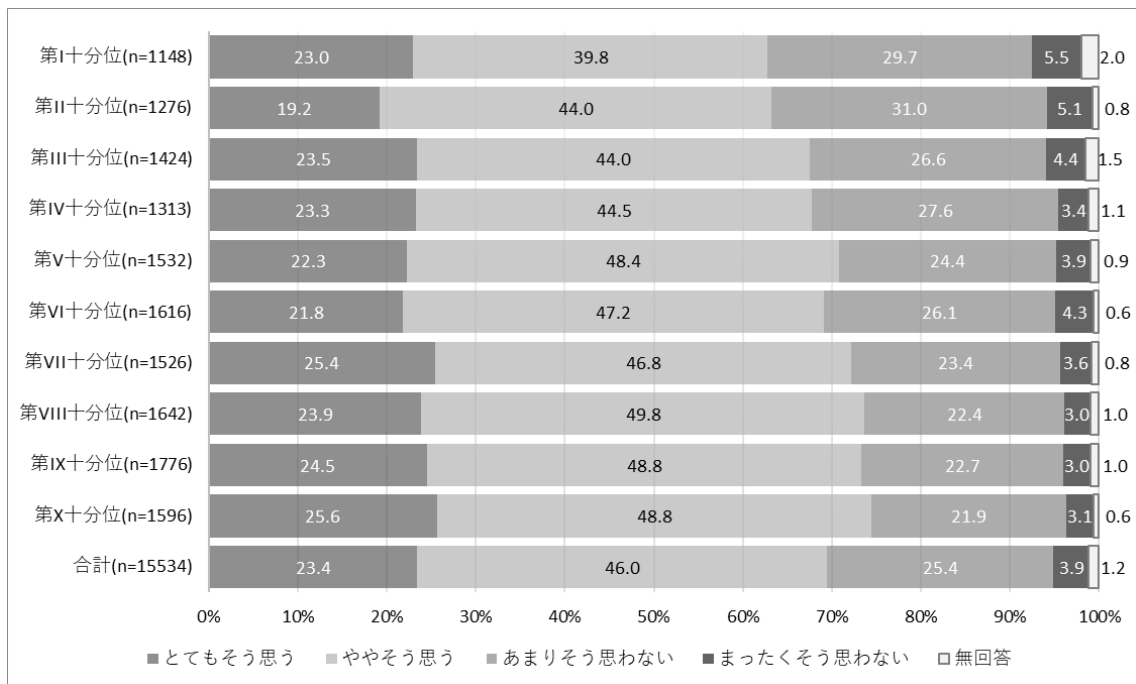
図表 XII-2 年齢階級別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。

図表 XII-3 は、等価可処分所得階級別に長生きに対する評価についての回答の割合をみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」割合は第 I 十分位で 62.8% (前回調査では 63.7%) であるが、第 X 十分位で 74.4% (前回調査では 74.1%) であり、所得階級が高いほど長生きに肯定的な評価をしている。これは前回調査でも同様の傾向であった。

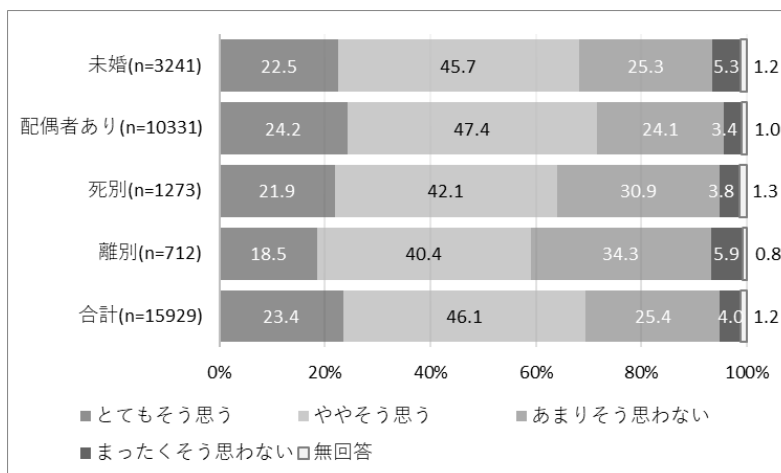
図表 XII-3 等価可処分所得階級別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 世帯票及び個人票により集計している。合計には、世帯票に回答がない世帯に属する個人は含まないが、収入額が無回答のため等価可処分所得が不明の世帯に属する個人を含む。

図表 XII-4 は、婚姻状況別に長生きに対する評価をみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」割合を見ると、未婚の者で 68.2%、配偶者がいる者で 71.6%、死別した者で 64.0%、離別した者で 59.0%であった。

図表 XII-4 婚姻状況別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)

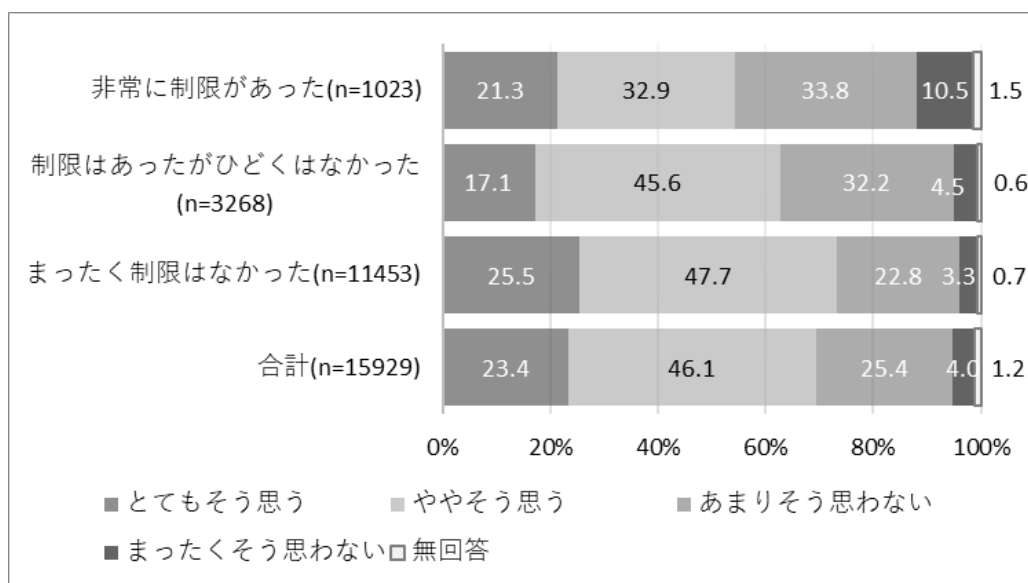


注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) に婚姻状況に無回答を含む。

本調査では、「あなたには、過去6か月以上にわたって、周りの人が通常おこなっているような活動について、あなた自身の健康上の問題による制限がありましたか」という質問により、健康上の問題による活動制限の有無を尋ねている。

図表 XII-5 は、健康上の活動制限の有無別に長生きに対する評価をみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」割合は、健康上の問題により非常に活動の制限があった者で 54.3%、制限はあったがひどくはなかった者で 62.7%、まったく制限はなかった者で 73.2%であった。

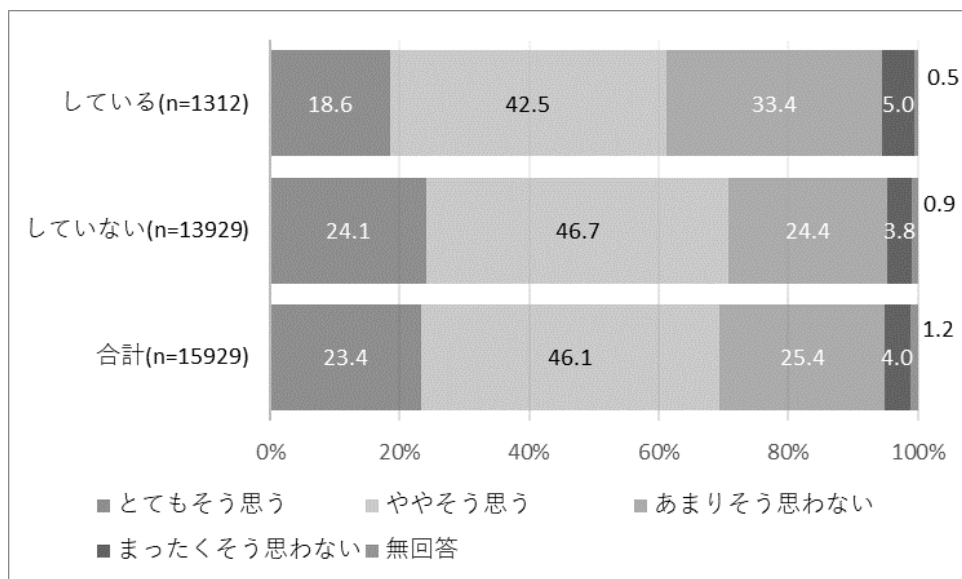
図表 XII-5 健康上の問題による活動制限の有無別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) には健康上の問題による活動制限の有無の質問の無回答を含む。

図表 XII-6 は、現在介護をしているかどうかの別に長生きに対する評価をみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」割合は、現在介護をしている者で 61.1%、現在介護をしていない者で 70.8%であった。

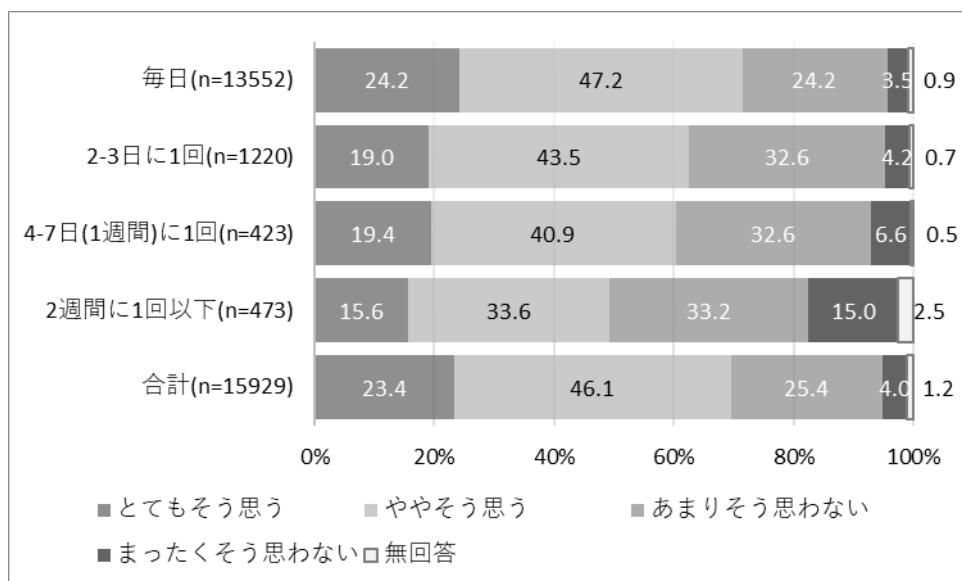
図表 XII-6 現在の介護の状況別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) には現在介護をしているかどうかの質問の無回答を含む。

図表 XII-7 は会話頻度別に長生きに対する評価をみたものである。「長生きすることは良いことだと思う」割合は、会話頻度が「毎日」であるもので71.4%であるが、2週間に1回以下では49.3%であった。

図表 XII-7 普段の会話頻度別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



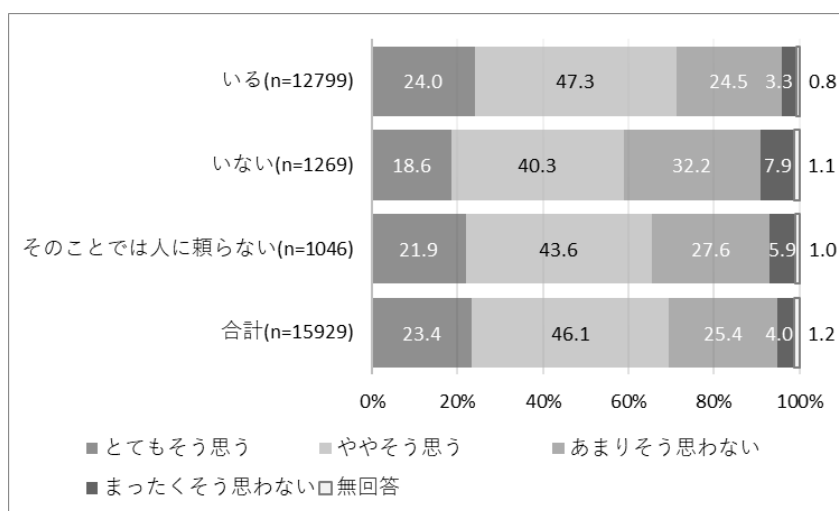
注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) には会話頻度の質問の無回答を含む。

図表 XII-8 及び図表 XII-9 は、頼れる人の有無別に長生きに対する評価をみたものである（図表 XII-8 は愚痴を聞いてくれること、図表 XII-9 は日頃のちょっとしたことの手助け）。

「長生きすることは良いことだと思う」割合は、愚痴を聞いてくれることで頼れる人がいる人で 71.3%、いない人で 58.9%、そのことでは人に頼らない人で 65.5%であった。

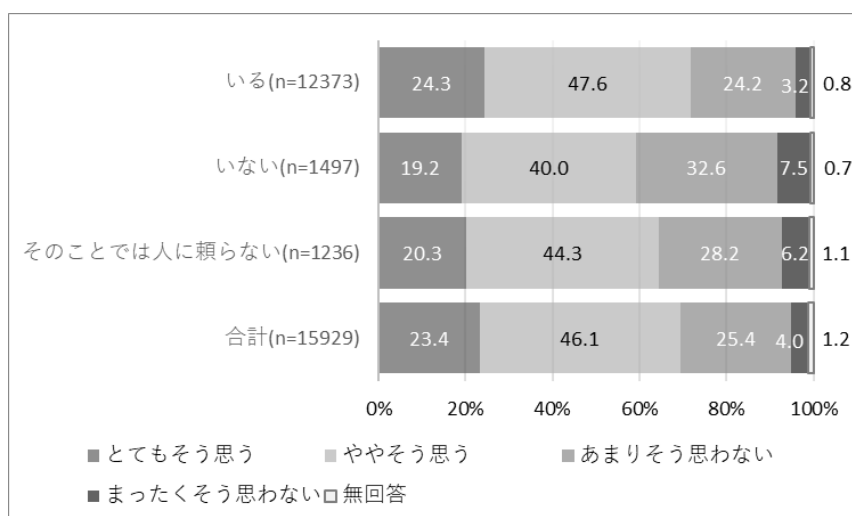
日頃のちょっとした手助けについては同様に、頼れる人がいる人で 71.8%、いない人で 59.2%、そのことでは人に頼らない人で 64.6%であった。

図表 XII-8 頼れる人(愚痴を聞いてくれること)の有無別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) には頼れる人の有無の質問の無回答を含む。

図表 XII-9 頼れる人(日頃のちょっとしたことの手助け)の有無別 長生きに対する評価別 個人の割合 (%)



注) 個人票により集計している。合計 (n=15,929) には頼れる人の有無の質問の無回答を含む。